

コード	205031505
記入日	H24.5.22

課コード	121
課名	消防本部
課長名	下山 勲
担当者	窄口 雅昭

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防通信指令システム中間整備事業
----------	------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	1
事務事業コード	2050315	事務事業名称	施設維持管理事業費	細目コード	931
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	22,720人口H23.4.1現在			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・消防通信指令システム中間整備業務委託事業 ・専門的な技術力を持つメーカーにより 老朽化した部品の交換や改造を行う。	・平成15年3月から運用を開始したシステムが8年を経過し、5年と言われるコンピュータの耐用年数を経過したため、コンピュータ系列の部品交換を主に行った。	*****	*****	*****	実施業務委託÷ 計画業務委託	*****
		① (達成率分析)	1.0式	100%		平成23年度
		計画どおり指令システムの整備業務委託を実施した。				
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・経年劣化の進む現システムをオーバーホールすることにより、災害発生時における119番通報の受理、さらに出動に係る指令、情報伝達により地域住民の安心、安全を確保することを目的としている。		*****	*****	*****	実施事業費÷ 計画事業費	*****
		① (達成率分析)	34,650千円	100%		平成23年度
		計画どおり指令システムの整備を実施した。				
		② (達成率分析)				

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	① %	100	100		100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	35,350	35,350		35,350	35,350
直接事業費 A	千円	34,650	34,650		34,650	34,650
人件費 B	千円	700	700		700	700
内 従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
の 財 源 内 訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起 債	千円	34,600	34,600		34,600
内 訳	そ の 他	千円				
	一般財源	千円	750	750		750

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	町民の生命、身体、財産を守るため消防の初動体制を維持するためメンテナンスを行う必要があった。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	現システムのオーバーホールにより目的は達成された。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	専門的な技術を持つメーカーによるメンテナンスにより実施できた。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	<p>今回、5年をめぐりに交換すべきコンピュータ系の部品を8年経過で交換したが、指令システム全般の耐用年数が9年であるため、今後とも長期使用を図りたい。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>消防の初動体制を維持することは、町民の生命・財産を守るため必要であり、今後も維持管理を適正に行い支障のないよう努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。